

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和04年09月29日

計画の名称	北部九州地域への来訪促進戦略（広域的観光活性化）（重点）											
計画の期間	平成27年度～平成31年度（5年間）										重点配分対象の該当	○
交付対象	大分県											
計画の目標	九州新幹線の全線開業（H23.3）に加え、東九州自動車道（椎田南IC～豊前IC 平成28年4月開通）の開通を契機に、九州道、大分道、東九州道の広域観光周遊ルートが形成され、移動の効率性が進み、全国各地から北部九州地域（福岡県、大分県）への観光客の増加が期待される。また、海外からの観光客が増加傾向にあることも視野に入れ、北部九州地域における交通拠点（高速道路IC・新幹線駅・空港・港湾等）と景勝地や滞在型観光施設である温泉街などの観光施設との相互アクセス性の向上など、広域的な観光活性化に向けた関連基盤を整備することにより、九州北部地域の活性化を図る。 国東半島地域における観光地アクセスを向上することにより、観光振興による半島の自立的発展・活性化を図る。											
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	1,197	A	1,197	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H25)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H31末)
1	【福岡県・大分県 共通目標】 延べ宿泊者数2,069万人(H25)から2,317万人(H31)に増加（248万人の増加）（12.0%増） 【福岡県・大分県 共通目標】延べ宿泊者数 (九州北部地域内の延べ宿泊者数の増加率) = (評価時点の延べ宿泊者数 - H25の延べ宿泊者数) / (H25の延べ宿泊者数)	2069万人	2219万人	2317万人
2	大分県内の延べ宿泊者数を671万人(H25)から689万人(H31)に増加（18万人の増加）（2.7%増） 大分県内の延べ宿泊者数 (大分県内の延べ宿泊者数の増加率) = (評価時点の延べ宿泊者数 - H25の延べ宿泊者数) / (H25の延べ宿泊者数)	671万人	683万人	689万人
3	国東半島地域の延べ宿泊者数41.2万人(H25)から42.3万人(H31)に増加（1.1万人の増加）（2.7%増） 国東半島地域の延べ宿泊者数 (国東半島地域の延べ宿泊者数の増加率) = (評価時点の延べ宿泊者数 - H25の延べ宿泊者数) / (H25の延べ宿泊者数)	412千人	419千人	423千人

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	○	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
中間評価：平成31年12月実施予定 事後評価：平成33年12月実施予定														

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況		
												H27	H28	H29	H30	H31					
一体的に実施することにより期待される効果																					
備考																					
広域連携事業	A11-001	道路	一般	大分県	直接	大分県	都道府 県道	改築	(一)新城山香線 田染 池部2工区(1-A1-1)	現道拡幅 L=0.96km	豊後高田市						270		-		
		国東半島地域																			
	A11-002	道路	一般	大分県	直接	大分県	都道府 県道	改築	(一)新城山香線 梅木 南工区(1-A1-12)	バイパス L=1.64km	豊後高田市						427		-		
		国東半島地域																			
	A11-003	道路	一般	大分県	直接	大分県	都道府 県道	改築	(一)新城山香線 梅木 北工区(1-A1-18)	バイパス L=0.59km	豊後高田市						500		-		
		国東半島地域																			
												小計						1,197			
												合計							1,197		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
大分県土木建築部道路建設課において評価を実施した。	令和4年3月
	公表の方法
	大分県ホームページにて公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<p>事業の整備促進により、北部九州地域における交通拠点（高速道路IC・空港・港湾等）と観光施設との相互アクセス性が向上し、観光客の増加に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・（一）新城山香線 田染池部2工区 <p>拠点施設 富貴寺などへのアクセス時において、幅員狭小(W=3.6～5.0m)に伴う観光バスなど大型車の離合困難や線形不良(最小曲線半径R=35m)による走行性の低下が生じていた。広域連携事業(観光)の基盤整備により、幅員狭小や線形不良が解消、走行性が向上し、交通拠点と拠点施設 富貴寺へのアクセス時間が約2分短縮され、観光客の増加に寄与した。</p>
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
A11-002、A11-003については、事業期間内に完了することが出来なかったため、引き続き社会資本整備総合交付金等を活用し、北部九州地域における交通拠点と観光施設との相互アクセス性の向上など、広域的な観光活性化に向けた関連基盤を整備することにより、国東半島地域の自立的発展・活性化を図る。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	九州北部地域内の延べ宿泊者数 2,069万人(H25)から2,317万人(H31)に増加	
	最終目標値	2317万人
	最終実績値	2832万人
2	大分県内の延べ宿泊者数 671万人(H25)から689万人(H31)に増加	
	最終目標値	689万人
	最終実績値	790万人
3	国東半島地域の延べ宿泊者数 412千人(H25)から423千人(H31)に増加	
	最終目標値	423千人
	最終実績値	462千人